

平成25年度第1回習志野市文化財審議会会議録

日 時 平成25年8月21日(水) 午後2時～午後4時
場 所 習志野市役所 仮庁舎3階大会議室
出席委員 山岸会長・夏目副会長・清水委員・山本委員・阿由葉委員
出席職員 植松教育長・早瀬生涯学習部長・櫻井生涯学習部次長
上野社会教育課長・白鳥文化財係長・松浦副主査・金谷主事
傍聴者 1名

会議次第・内容

— 開会 —

(1) 会長挨拶

会議次第「(7) その他」は個人情報に関わる案件であるため、非公開とすることに決定した。

(2) 教育長挨拶

(3) 職員紹介

(4) 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、夏目委員と阿由葉委員が議事録署名人に選出された。

(5) 報告

① 指定文化財・登録文化財等

ア 県指定文化財

事務局 県指定文化財について報告。

- ・旧大沢家住宅について、平成25年7月31日現在の入館者数を報告。小学校の社会科授業及び総合学習の会場として活用されていることを報告。
- ・旧鵜田家住宅について、平成25年7月31日現在の庭への入場者数を報告。平成25年1月末に主屋の応急補強工事を実施し、2月1日から庭の開放範囲を拡大したこと、4月1日からは庭の開放時間を3時間30分から5時間30分に延長したことを報告。
- ・旧鵜田家住宅の平成25年度以降の災害復旧計画について説明。沈下及び損傷等の可能性が報告されている基礎の復旧工事については、隣接する実籾本郷公園に主屋を一旦曳屋し、基礎が復旧した後は、元の位置に再度曳屋する計画で実施設計を委託していることを報告。
- ・下総三山の七年祭りについて、七年まつり保存会役員会の内容を報告。

会 長 旧鵜田家住宅の災害復旧について、曳屋の期間はどれくらいかかるのか。

事務局 現在、設計委託の段階であるため、正確な期間等は決定していない。

② 埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。

ウ 谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査

事務局 『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』、『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』及び『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』の作成作業について報告。

・今年度は報告書のⅡ・Ⅲ・Ⅳ巻が刊行され、これで全4巻に及ぶ報告書の作成作業が完了した。

委員 『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書』の発行部数は何部か。また、配布先はどのような所か。海外には配布しているのか。

事務局 発行部数は文化庁の指導に基づき300部である。配布はこれからであるが、各都道府県の教育委員会、県内市町村の教育委員会、図書館等を予定している。海外は今のところ予定していない。

③ その他

ア 文化財等の調査・整理

事務局 市史関連資料の収集と整理について報告。

・市史関連資料の収集と現在保管している資料の整理を継続して実施した。
・民俗資料の整理を実施した。

委員 習志野関係の写真資料、たとえば騎兵連隊の写真資料はどの程度収集しているのか。

事務局 絵葉書が中心であるが、騎兵第十五・十六連隊関係の資料は比較的収集できている。第二次世界大戦期の写真は比較的少ない。

委員 民俗資料はどこでどのような形で、どれくらい保管しているのか。また、いつ頃寄贈されたものか。寄贈者をたどることはできるのか。

事務局 旧市立習志野高等学校の北校舎という建物内で、小さいものも含めて550点以上保管している。他に市内小学校に貸し出しているもの、旧大沢家住宅・旧鵜田家住宅で展示しているものもある。だいたい昭和40、50年代に寄贈されたものが多いが、寄贈者については、書類が無いものについては把握できていない。

会長 津田沼小学校の円形校舎に展示されていた民俗資料は、新校舎に移したのか。

事務局 もとはこちらから貸し出したものであったが、校舎の移転に伴い返却されたため、現在は社会教育課で保管している。

イ 文化財等の寄付

事務局 「習志野俘虜収容所」関係資料「ボトルシップ」の寄付について報告。

委員 ボトルシップにどのような歴史があるのか、国内ではどのくらい存在しているのかなど、資料を生かすための調査を進めていただきたい。

事務局 今回寄付されたボトルシップについては、今後調査を進めていきたい。

ウ 文化財等の普及・活用

a 埋蔵文化財調査室・総合教育センターで出土遺物及び文献資料を展示

委員 埋蔵文化財調査室と総合教育センターで実施している展示というのは、恒常的に年間を通して実施しているのか。また、総合教育センターは、一般の方が訪ねることはあまり多くない場所であるが、どれくらいのスペースで展示を実施しているのか。

事務局 年間を通して展示している。総合教育センターでの展示は、ロビーの一角をお借りして実施している。

b ボトルシップ展示会

事務局 ボトルシップ展示会について報告

・平成25年5月15日から6月14日までの1か月間、JR津田沼駅南口連絡所において習志野市所蔵のボトルシップ2点を中心に、習志野俘虜収容所関係の資料を展示した。その結果、市内だけではなく市外や県外からも来場者があった。

c 出前講座への講師派遣

事務局 講師を派遣した各講座について報告。

d 文化財関係の問合せへの回答

事務局 市民や他自治体等からの文化財・歴史に関する問合せに回答した。

委員 市民からの文化財関係の問合せにはどのようなものがあるのか。

事務局 軍関係などの近現代に関する問合せが多い。

エ 文化財保護行政の推進

a 千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会

事務局 文化財関係の情報交換、展示会・発表会の準備作業などを行った。

b 千葉県史料保存活用連絡協議会

事務局 史資料関係の情報交換、運営委員会・講演会等に参加した。

c 研修会・講習会等

事務局 参加した各種研修会・講習会等について報告。

(6) 協議

①習志野市指定文化財の指定について

事務局 習志野市指定文化財の指定候補について、審議を依頼。

- ・習志野市教育委員会からの諮問内容について説明。
- ・指定候補の物件について説明。

会長 千葉県全体を見ても、縄文時代前期の土器が完形に近い形で住居内から出土するというケースは非常に珍しい。この発掘が終わった後、船橋市・市川市で同じく早期・前期の遺跡が発見されたが、そういう意味でも興味深い。

委員 土器の価値とは古さなのか。

会長 古さだけではなく、保存状態や出土状況、何を伴って出土したのか、文様も問題となる。本物件は住居内貝層を伴って出土しており、縄文の施し方も興味深い。

委員 この時期の海岸線は当該の遺跡に近いのか。

事務局 縄文時代前期は一番温暖な時期であり、海が内陸まで入り込んでいた。どの辺りまで入り込んでいたかというのは難しいが、浜田川沿いに遺跡のある程度近くまで入り込んでいたのではないかと考えている。

委員 指定文化財の保管場所等については、指定の段階で縛る必要はないのか。

事務局 保管は習志野市教育委員会が行う。「保存上の留意事項」以外に、特に条件を付ける必要はないと考える。

会長 審議の結果、本審議会においては本物件を指定することに決定し、習志野市教育委員会に対し答申するというところでよろしいか。

委員 (異議なし)

会長 では、習志野市教育委員会に対し、本物件は指定すべき物件であると答申する。

— 以下、非公開 —

(7) その他

— 閉会 —